

10月は3R推進月間です！

環境保健係

国では、10月を3R推進月間と定め、“3R”（ごみの発生抑制・再使用・再資源化）を推進しています。

当町でも、ごみの分別を推進し、排出される年間総ごみ量の4分の1程度をリサイクルしています。ごみの資源化・減量化に、更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

1 “3R”とは

3R（スリーアール）は、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）の頭文字を表し、その意味は次のとおりです。

Reduce（リデュース）…物を大切に使い、ごみを減らすこと（ごみの発生抑制）

例えば、買物にはマイバッグを持参する。余計な包装は断る。ばら売りや量り売りで必要な分だけ購入するなど。

Reuse（リユース）…使える物は、繰り返し使うこと（再使用）

例えば、詰替え用の製品を購入する。フリーマーケットやリサイクルショップを活用するなど。

Recycle（リサイクル）…ごみを資源として再利用すること（再資源化）

例えば、ごみを正しく分別する。再生製品を利用するなど。

“3R”は環境と経済が両立した循環型社会を形成していくためのキーワードです！

これを機会に一人ひとりが自らのライフスタイルを見直してみましょー!!



2 生ごみへの取り組み

当町では、ごみの減量化のため、生ごみの自家処理を推進しています。

(1) 生ごみ処理機器等購入費補助金

家庭から排出される生ごみの自家処理機器等に対して補助金を交付しています。

補助金額は、生ごみ処理機器等の購入価格の3分の2以内。ただし、6万円を限度とします。

申請方法、対象者等については、環境保健係までお問合せください。

(2) ダンボールコンポスト

ダンボールコンポストによる生ごみの堆肥化を支援しています。ダンボール箱と腐葉土を提供しています。詳細は、環境保健係までお問合せください。

こちら 地域包括支援センターです！

高齢者支援係

認知症サポーターになりませんか？

町では、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を見守り、支援するために「認知症サポーター養成講座」を開催します。この講座は、認知症になっても安心して暮らせるまちを町民の皆さんと一緒につくっていくことを目指します。大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

対象者：立科町にお住まいの方もしくはお勤めされている方

日時：10月28日(金) 午前10時～11時30分

場所：中央公民館 大会議室

講師：NPO法人やじろべー 中澤純一氏

申込み：10月3日(月)～10月17日(月)

地域包括支援センター 有線2311 電話56-2311までご連絡ください

★講座修了後「認知症の人を支援します」という意思を示す目印の「オレンジリング」が渡されます



地域包括支援センター・高齢者支援係